

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373001128
事業所名	グループホームどんぐりの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	区長より、『行事の際はどんぐりの家の利用者の席を用意している』と言う前向きな言葉も頂いている。 自治区敬老会に参加の際、利用者家族からの差し入れの果物に、参加された地域の方々から『ワーツ、家族からも！』と言う感動の声が上がり、これが真の地域密着と痛感させられた。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	区長・老人会会長・民生委員(2名)・地域包括支援センター・ホーム関係者(利用者・家族・法人代表・管理者・職員)と、地域の幹部と言われる人たちを主要構成メンバーとしている。 特に地域の方々全員が年間欠席なしで参加され、地域密着の原動力になっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	地域包括支援センター職員が運営推進会議に出席し、介護相談員の受け入れもある事から、ホームの状況は市役所窓口に充分理解されている。 管理者は市主催の『認知症勉強会』に講師として協力している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	運営推進会議に出席の家族から、『近所の方と話すのですが、こう言う集まりにも地域の方が出るなんか普通は無いよ』との声もあり、家族を含め地域に融和している。 毎回の事ではあるが、家族アンケートでは他に類を見ない程高い評価を受けており、利用者だけでなく、家族の意見や要望についても、素早く把握して対処しようとしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。